

谷戸沢レポート

鳥類や昆虫をはじめ、さまざまな動植物が確認されています

平成10年に埋立を終了した谷戸沢処分場は、現在22ヘクタールもの広大な草原などになっています。長期にわたる生態モニタリング調査により、これまで約1300種の昆虫類、約100種の鳥類が確認され、順調に自然の回復が進んでいます。夏には、ベニシジミやヤマホトギスなどの動植物が見られます。



ベニシジミ。シジミチョウ科のチョウで、日当たりの良い草原などでよく見られます。



ヤマホトギス。ユリ科の植物で、晩夏に花を咲かせます。



順調に自然回復が進む谷戸沢処分場(平成19年5月撮影)。

日の出だより

日の出町 No.34

多摩地域 東京都 区部

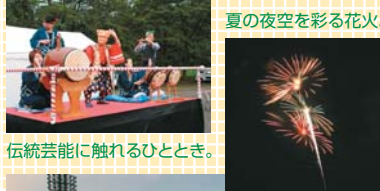
「2007 ひので夏まつり」を開催します

「ひので夏まつり」は、2年前に合併50周年・町制施行30周年を記念して行われたのを機に、町の恒例行事として定着しつつある住民参加型のおまつりです。

伝統と歴史に輝く郷土芸能、老若男女が参加する盆踊り、そして色とりどりのあざやかな花火という3部で構成されています。また、会場には各種模擬店も出店され、夏まつりを盛りあげます。

真夏の一夜を、山里の自然豊かな日の出町で過ごしてみませんか。

- 日時/7月28日(土)午後4時~9時(予定)
※雨天の場合には29日(日)に順延
- 会場/日の出町民グラウンド
- 交通アクセス/ JR青梅線福生駅よりバス約20分
JR五日市線武蔵増戸駅より徒歩約20分
- 問い合わせ先/ ひので夏まつり実行委員会事務局
(日の出町役場企画財政課企画係)
TEL.042-597-0511(内線:311)
※当日は混雑が予想されます。
公共交通機関でのご来場をお願いします。



ごみのゆくえを知ろう!!

「夏休み処分場見学会」参加者募集!!

今年も夏休み恒例の処分場見学会を開催します。自分たちが出したごみがどのように処理されているのか、処分場やエコセメント化施設、清掃工場に行って確かめてみませんか?

<日時・行程>

第1回 平成19年8月8日(水)
8:30 京王線府中駅集合→日野市クリーンセンター→昼食(ひので肝要の里)→二ツ塚処分場→谷戸沢処分場→17:00 京王線府中駅解散
*集合・解散場所:旧甲州街道大國魂神社前

第2回 平成19年8月22日(水)
9:00 JR立川駅集合→西多摩衛生組合環境センター→昼食(ひので肝要の里)→二ツ塚処分場→谷戸沢処分場→17:00 JR立川駅解散
*集合・解散場所:立川通り曙町2交差点付近

*各回とも、全行程大型バス2台で移動

<参加資格>

親子参加 多摩地域在住の小学校4、5、6年生と保護者(18歳以上)の2人1組
一般参加 多摩地域在住者または在勤・在学者(中学生以上)で、個人または2人1組

<参加費>

1人500円(昼食代)
*親子で参加の場合は1,000円の負担となります。
*当日お支払いください。

<募集人員>

各回とも80名

<申し込み方法>

往復はがきに「見学会参加希望」と明記の上、参加される方全員の①氏名、②年齢(学年)、③住所、④電話番号、⑤希望日を記入し、お送りください。
*多摩地域にお住まいでない方は、通勤・通学先もご記入ください。

<締め切り>

各回とも7月18日(水)到着分
*応募者多数の場合は、抽選により決定します。
*結果は、返信はがきでご連絡いたします。

<申し込み・問い合わせ先>

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京たま広域資源循環組合「見学会」係



<http://www.tama-junkankumiai.com>

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449

「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係
[メールアドレス] sjkumiai@tama-junkankumiai.com

この印刷物は環境にやさしい大豆インキを使用しています。 R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。



多摩400万人のごみ情報紙

たまエコニュース

発行:東京たま広域資源循環組合

[事務局] 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

循環組合組織団体

八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

「循環組合」とは

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみならずの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

3月号 MAR
6月号 JUN
9月号 SEP
12月号 DEC

エコセメント化施設 本格稼働 1周年記念号

VOL.42

年4回・最終日曜日発行 JUN.2007

*掲載内容と時期により、発行日が前後する場合があります。

エコセメント化施設の本格稼働から1年が経過 エコセメントは私たちの街で 広く活用され始めています

循環組合では可燃ごみの焼却灰からセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。平成18年7月、二ツ塚処分場内の「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働を開始。現在、エコセメントの製造・出荷が順調に進められており、エコセメント製品の使用も始まっています。

- 緑石
歩道と車道、歩道と緑地との境界など、さまざまな場所で使用されます。使用目的に応じて、さまざまな形状があります。
- U形側溝
敷地内や道路での排水のために用いられます。上にフタをして使われることが多い製品です。
- 車止め
歩道への車の進入を防いで歩行者を守ったり、スムーズな交通を促すために使われます。
- L形側溝
おもに歩道と車道の境界部分に使われます。

※イメージ

「東京たまエコセメント製品」の利用を促進する 認証制度の実施が始まっています

昨年7月から本格的な稼働を開始した「東京たまエコセメント化施設」では、安全対策に万全の配慮をしてエコセメントの製造を行っています。

施設で生産されたエコセメントは、道路の舗装材や緑石といったコンクリートの二次製品への加工が行われており、私たちの街の中でもその使用が始まっています。

循環組合では新たに、こうしたエコセメント製品に関する認証制度を実施し

ています。「東京たまエコセメント製品」には、エコセメント事業のシンボルマークであるエコタローを製品の側面などに刻印し、東京たまエコセメントを100%使用していることを証明します。

可燃ごみの焼却灰を主原料とするエコセメントは、物質循環を実現する画期的な土木・建築資材です。認証制度の実施により「東京たまエコセメント製品」の利用を促進することで、循環型社会づくりを推進していきます。

エコセメント事業は、循環型社会をめざす 最も先進的な取り組みです

日の出町のみならずのご理解とご協力により、東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設が建設され、稼働を始めて約1年が経過しました。

全国の自治体として初めての取り組みであるエコセメント事業は、廃棄物処理の最も先進的な取り組みであり、循環型社会の実現に向けた大きな一歩となりました。施設は順調に稼働し、多摩地域から出る「可燃ごみの焼却灰」から月約1万トンのエコセメントが製造・出荷され、現在、多摩地域のさまざまな公共工事などで使用されています。

今後とも、エコセメント事業に対し、更なるご理解をいただくとともに、それぞれの地域において、一層のごみ減量に取り組まれるようお願いいたします。



石川良一 管理者(稲城市長)

多摩400万人のごみ情報紙 たまエコニュース

本格稼働から1年を迎えるエコセメント事業に注目!

循環型社会を先導するエコセメント事業

「エコセメント」は物質循環を実現するリサイクルの新しい形です。エコセメント事業の推進により、環境先進地域・多摩のリサイクルはさらに高まります。



エコセメントとは

JIS規格に定められた新しい土木・建築資材です

エコセメントは、可燃ごみの焼却灰を主原料として製造される、新しいタイプのセメント。普通セメントと同等の性質を持つことが日本工業規格(JIS規格)で規定されており、安全性も十分に確認された土木・建築資材です。



可燃ごみ焼却灰を主原料とするエコセメント。

安全性

万全の安全対策のもとエコセメントを製造しています

エコセメントは、その製造工程において、安全の確保や環境保護に万全の配慮をしています。

焼却灰に含まれるダイオキシン類は1,350℃以上の温度で焼成することで分解され、無害化します。また、このときに発生する排ガスは急速に冷却され、ダイオキシン類の再合成を防止します。

さらに排ガスはろ過式集塵機(バグフィルタ)を通し、きれいにしてから煙突で排出されます。排ガスに含まれる重金属類は、重金属回収設備で処理・回収し、リサイクルしています。



可燃ごみ焼却灰をリサイクルするエコセメント化施設(平成19年5月撮影)。

不燃ごみが埋め立てられている二ツ塚処分場。奥に見えるのがエコセメント化施設(平成19年5月撮影)。

埋め立てずにリサイクルした可燃ごみ焼却灰は10トトラックで約6,600台分!!

(※平成18年7月から平成19年3月まで)



社会への広がり

各自治体の公共工事で導入される、さまざまな「東京たまエコセメント製品」

普通セメントと同等の性質を持つエコセメントは、道路の舗装材や緑石、側溝や鉄筋コンクリートへの利用といった土木・建築工事などのさまざまな用途で利用できます。

多摩地域の各自治体では、公共工事等でエコセメント製品の使用が始まっています。「東京たまエコセメント製品」の認証制度も導入され、今後、私たちの街の中で多種多様なエコセメント製品が活躍していくことでしょう。



道路の両端にL形側溝のエコセメント製品が活用された稲城市の歩行者専用道路。稲城市では、このほか2カ所でエコセメント製品を使用した舗装道路を整備中。

ごみの減量

不燃ごみの埋立は今後も続きます。さらなるごみの減量を

エコセメント事業の推進により、可燃ごみの焼却灰はエコセメントにリサイクルされます。しかし、不燃ごみの埋立はいままも続いており、二ツ塚処分場はいつか満杯になってしまいます。

用地確保などの問題から、新たな処分場をつくるのは困難な状況です。限られた処分場を1日でも長く有効利用するためには、一人ひとりがより一層のごみの減量、リサイクルに取り組むことが大切です。

事業目的

多摩地域のリサイクルを推進し二ツ塚処分場を有効利用します

循環組合では以下の3つの目的を推進するためにエコセメント事業に取り組んでいます。

- ①多摩地域のリサイクルをさらに進める
- ②二ツ塚処分場を長く有効に活用する
- ③安全な埋立対策をさらに進める

エコセメント化施設が本格稼働するまで、埋め立てられるごみの約8割は可燃ごみの焼却灰でした。それをエコセメントの原料としてリサイクルすることで、二ツ塚処分場の使用期間を大幅に延ばすことができます。

また、可燃ごみ焼却灰がエコセメントとして道路の側溝・緑石等や建物用鉄筋コンクリートなどに生まれかわることで、新たな物質循環のモデルが構築されます。エコセメント事業により、多摩地域は循環型社会の実現に向けて大きく前進することができるのです。



DATAをCHECK

ごみ問題への意識が高い多摩地域のリサイクル率は、全国平均を大きく上回ります

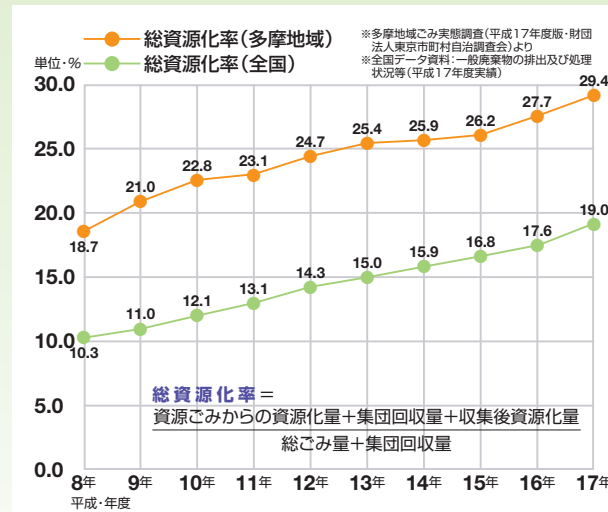
新しいリサイクルの形、エコセメント事業を推進する多摩地域は、住民のみなさんごみに対する意識が、とても高い地域であることをうかがわせるデータがあります。



総資源化率(リサイクル率)とは? ピン・缶・古紙類といった資源ごみを再資源化した量や集団回収量などを合わせ、すべてのごみの量で割った数字。

多摩地域のリサイクル率は過去10年間で確実に伸びてきており、平成17年には29.4%に達しました。これは全国平均の19.0%を10ポイント以上も上回る数値で、多摩地域のごみ問題、環境問題への意識の高さが表れたものといえるでしょう。

平成15年度から平成17年度の2年間をみても、それぞれ1.5ポイント、1.7ポイントと伸び率の幅が大きくなっています。こうした点からも、ごみの資源化への取り組みが、さらに活発になっていることがうかがえます。



みんなでごみを減らそう あなたのアイデア募集!!

ごみ減量や資源の活用について、アイデアや体験談をお寄せください。家庭や地域、学校や職場などでの取り組みや、実際にごみ減量に成功した事例を、「たまエコニュース」で掲載予定です。採用された方には記念品を差し上げます。お気軽にご応募ください。

【送り先】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449 【メールアドレス】sjkumiai@tama-junkankumiai.com

※ご応募の際は、活動の内容、あなた(グループの場合は代表者)の氏名、住所、年齢、職業、電話番号をご記入ください。取材させていただく場合があります。

商店街でごみ減量に取り組んでいます

我が家ではこんな方法でごみを減らしたりリサイクルしているよ

地域でごみの勉強会をしています

家族みんなが分別しやすいように家ではこんな工夫をしています



新副管理者の挨拶

5月25日の理事会で選出されました

新副管理者:星野 繁 (清瀬市長)

このたび、循環組合の副管理者に就任いたしました。昨年、物質循環への新しい一歩としてエコセメント事業が本格稼働し、リサイクルの先進地として全国的に注目されていますが、さらに、環境負荷の少ない資源循環型社会を実現していくために、廃棄物の排出抑制、発生抑制、再使用、再生利用など積極的な取り組みが必要と考えます。



地元の日の出町の皆様のご理解とご協力に深い感謝を申し上げ、これからも、各組織団体の皆さんと連携を取りながら、副管理者としての責任を果たしていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新理事の挨拶

組織団体の市長・町長が理事となります

新理事:渡部 尚 (東村山市長)

日頃より、当市のごみ処理につきまして、日の出町の皆様には深いご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

ご承知のとおり、ごみ処理問題を中心とした環境問題は、自治体における大きな課題の一つであります。科学の発達もたらした地球温暖化や環境破壊もクローズアップされています。当市では、平成14年10月から指定収集袋導入による家庭ごみの有料化、平成19年1月より容器包装プラスチックの分別収集を実施いたしました。資源循環型社会の構築を目指すとともに、今後も、市民の皆様と協力し環境問題の解決に向け未来が明るいものとなるよう、ごみ減量施策ならびに発生抑制を推進していきたいと考えます。組合の理事といたしましても、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



新理事:関口 博 (国立市長)

本市のごみ処理につきましては、日の出町の皆様方の深いご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

本市では、ごみの減量と資源化を推進するために3R(リデュース・リユース・リサイクル)の施策を展開し、市民や事業者に対する意識啓発を行っています。ごみ排出を抑制し、資源化率を上げることによって環境負荷の少ない循環型社会を築きあげ、地域発の地球温暖化防止策をすすめてまいります。組合の理事として今後も一層の努力を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

